

さぬき市農業委員の推薦及び応募の状況

【推薦(個人推薦及び法人・団体推薦)】

推薦を受けた者									推薦をした者	
受付番号	氏名	年齢	性別	職業	経歴	耕作面積 作物 農業従事日数等	認定農業者 該当・非該当	農地利用最 適化推進委 員への応募 状況	氏名	推薦理由
1	岩崎 治樹	65	男	農業	さぬき市農業委員	60a 稲作 150日 作業委託	該当	なし	さぬき連合自治会 鴨部支会 会長 藤井 悠平	鴨部地区の農業の リーダーであり、農 政、農地に詳しいか ら。
2	川田 政美	70	男	農業	農業共済評価委員 H16農業委員 多目的交付花の山活動組織代 表 土地改良区理事	1.5ha 米 230日	該当	なし	農事組合法人山田 代表理事 神野 太	農地法に精通してい るから。
3	松原 俊幸	80	男	農業	香川県酪農大学卒業 農事組法人打越養鶏組合理事 川北営農集落より農事組合法 人ながおへ移行	法人ながお(経 営農地面積 13.7ha)で160日 位従事	認定農業者 等に準ずる者	なし	農事組合法人なが お 代表理事 広瀬 隆義	決め細かな目標値 を定め指導してい る。
4	稲田 俊美	63	男	農業	S49.3石田高校卒 S49.4四国貯蓄信用組合入組 H12.12四国貯蓄信用組合退職 H12.12父の後を継ぎミニトマト、 水稲作り 現在に至る	ミニトマト 26a 水稲 66a 320日	該当	なし	さぬき連合自治会 鴨部支会 会長 藤井 悠平	鴨部地区の農業の リーダーであり、農 政、農地に詳しいか ら。
5	大塚 ノブ子	77	女	農業	香川県名誉農業士 香川県むらの技能伝承士 香川県農業士等認定推進委員 さぬき市生活研究グループ会 長 さぬき市地域農業再生協議会 委員 さぬき市まち・ひと・しごと創生 有識者会議委員	78.52a 水稲・青ねぎ 180日	認定農業者 等に準ずる者	なし	小方自治会 会長 中村 俊則	農業事業全般に精 通する最適任者
6	十河 道夫	69	男	農業	さぬき市農業委員 さぬき市土地改良区理事	稲作1ha 露地野菜(ブロッ コリー、オクラ 等)30a 180日	該当	なし	農事組合法人野間 代表理事 田村 辰雄	農業委員・土地改良 区理事として実務経 験があり、農業委員 として適任である。
7	吉原 博美	71	男		S42.4.1よりH21.3.31まで津田町 及びさぬき市勤務		非該当	なし	渡邊 三洋	適任
8	岩崎 聖人	65	男	農業	稼業として少年期より従として 参加、平成28年の父親の他界 を期とし主体としての農業と向 き合う。平成25年より農業共済 部長として又、地域水利組合の 代表として地域農業活性化の 一助をなす。現在、有害獣の捕 獲・駆除による耕作地の確保。 荒廃・放棄地の再活用を拡大 (主に中山間地)。栽培作物や 販売形態の考察により経済性 の確保に取り組んでいる。	耕作面積1.6ha により米、ニンニ ク、な花、ソラマ メ、マコモダケ他 を栽培、年間250 日程農作業に従 事。 現在、マコモダ ケの栽培に注力 し、栽培賛同者 も増えたため本 年から作付け面 積の拡大を目論 んでいる。	非該当	なし	石川 晃示 金森 仁 松岡 義清	氏は退廃傾向の地 域農業を活性化し 特に中山間地の抱 える問題に対し解 決努力している。当 地に従来見られた 害獣被害も氏の努 力により減少し耕 作可能となっている 。又、当該地区に おいて米作以外の 作物を生産し農地 拡大を図っている 稀有な存在である 。これらの点を考 慮し近來農業の発 展を担っていただ きたく期待する。

9	廣瀬 徹	74	男	農業	さぬき市農業委員2008年7月20日～2011年7月19日 JA香川県総代(現在2期目) 2015年8月～ 末西自治会長、末支会長兼務 2018年4月～2019年3月	14,579㎡ 水稲 200日/年	非該当	なし	末西自治会 会長 長端 幸四郎	過去に一期経験している。
10	芳竹 和政	67	男	農業	平成23年より3期農業委員	60,156㎡水稲 20,000㎡WCS用 水稲 300日	該当	なし	(農)さぬきグリーン ファーム 代表理事 小倉 望	農業委員の経験者である。
11	藤澤 明	50	男	農業	香川県立農業大学卒業H2.3 旧四国大川農協退社 H8.7	(株)さぬきベジ ファーム 野菜25ha 300日	該当	なし	戸田 修治	農業法人を経営し、 現在農業委員として 活躍されている。
12	十川 隆行	65	男	農業	寒川町農業委員(1期) さぬき市農業委員(2期)	9.5ha(田) 水稲、麦 200日	該当	なし	十川牧場 代表取締役 十川和夫	地域農業に精通し ている。農業委員の 経験も十分にある。
13	朝倉 重弘	59	男	農業	1997 就農 2020 現在に至る	いちご25a 米35a 330日	該当	なし	上野 壽雄	認定農家 JAいちご部会役員 農業に高い識見と 円満な人格で適任 者である。
14	蓮井 セツ子	71	男	農業	H21.3香川県東部農業共済組 合退職 H22.6～農業委員 H27.8JA総代 H26.9県女性農業委員登用促 進アドバイザー H30.8～JA香川県富田支店運 営委員長	31a 水稲、野菜 100～120日	非該当	なし	広瀬 正治	地域農業のために 努力しています。
15	寒川 巧	80	男	農業	S33.3 日本デーゼル(株)入社 S34.4 高輪デーゼル(株)へ S53.8 同社退社 S53.8 古里に帰郷して農業を 開始 現在に至る	6,000㎡(水稲 4,000㎡、野菜 2,000㎡) 210日	非該当	なし	松原 俊幸	地区の農業委員とし て永年にわたり農家 の相談を受け農業 振興に力を入れた いる。
16	佐藤 恭一	55	男	農業	H26.7～現在 農業委員 さぬき市空家等対策協議会委 員 さぬき市都市計画審議会委員	1.6ha 水稲、野菜 120日	該当	なし	農事組合法人石井 振興組合 代表理事 廣瀬 員義	農事組合法人石井 振興組合発展のた め
17	間嶋 正憲	64	男		大川北部農協(S54～H12) 香川県農協(H12～H26) 現在NPO法人特定営利活動 法人ほのぼのワークハウス勤 務	70a 米、ニンニク、 ジャガイモ 120日	非該当	なし	加藤 峯雄	JA志度支店長さん 等であり、地域に詳 しいので。

【応募(自ら応募した者)】

自己推薦をした者									
受付番号	氏名	年齢	性別	職業	経歴	耕作面積 作物 農業従事日数等	認定農業者 該当・非該当	農地利用最 適化推進委 員への応募 状況	応募の理由
1	松岡 義治	74	男	農業	S39.10.1 志度町役場事務局員 H18.3.31 さぬき市役所定年退職	45a 水稲、野菜 60日	非該当	なし	時間的な余裕があり健康である。農業委員会事務局の経験を生かしたい。
2	岡村 義弘	72	男	農業	香川県果樹研究同志会副会長・葡萄部会長 香川県生産流通課果樹振興協議会委員 JA香川県葡萄部会長 元さぬき市消防団長 さぬき市土地改良区総代 さぬき市廃プラスチック協議会会長 JA香川県志度支店運営委員 JAさぬき市果樹部会会長	畑45a 水田41a(稲33a) ぶどうハウス (シャインマス カット25a、ピ オーネ14a)、雨 除トンネル(シャ インマスカット 10a) 285日	該当	なし	地域の農地の保全、用途地域、農振地域等関連 荒廃地の改善のため
3	楠 豊	54	男	農業	さぬき市農業委員(現在5期目) 香川県農業士 さぬき市認定農業者	230a 水稲、ねぎ、に んにく、セレベス 300日	該当	なし	地域の農業を少しでも元気にし、生まれ育ったこの地域に貢献する為。
4	岩澤 佳宣	64	男	農業	津田高校卒業 広島農業短期大学卒業	114a ミニトマト、ブド ウ、水稲 320日	該当	なし	現在も委員であり、地域のために活動したい。
5	松岡 浩二	67	男	農業	大阪電気通信大学卒業 (株)関西通信建設 (株)セシール(総務部) (農)みろく	25ha 水稲12ha、麦 12ha、キャベツ 1.5ha、ブロッコ リー4ha、アスパ ラガス(さぬきの めざめ)15a 300日	認定農業者である法人の業務執行役員 又は重要な使用人	なし	農業者の高齢化が進んでいる中、大川町の農地をいかに守っていくか考えている。人・農地プランの実質化の推進にも少しでも役に立ちたい。
6	佐藤 登	71	男	農業	S47.3愛媛大学法文学部法学 課卒業 同年4月百十四銀行入 行。白鳥、高知、坂出、三本 松、玉野等各支店に勤務し、得 意先課長、融資課長等歴任。 H2.10 高知支店の取引先に3年 間出向、工場建設の資金調達 業務に従事した。 H18.10百十四ワークサポート (株)に転籍、担保不動産評価 業務に従事した。 H24.4(独)中小企業基盤整備 機構に契約社員として入社。債 権管理回収業務に従事。H29.3 退職 H23より父に代わり農業に従 事。水稲(コシヒカリ)の単作経 営。農地の維持管理に努めて いる。	65a 水稲(コシヒカ リ) 90日 米のみの単作経 営 農地の維持 管理を主体とし ている。 自家消費分以外 は、業者、知人 等に販売してい る。	非該当	あり	今農業は大きな分岐点に立たされており ます。基盤となる農地の最適化利用、集 約等は今後の農業の将来を決める大き な要因の一つであると思います。 銀行等の勤務を通じて得られた不動産に 関する知識も生かし、第三者の立場とし て農地の最適化利用の推進業務に携わ り、地域農業の発展に少しでも寄与した いと思っています。また、併せて農地を 含む土地の有効利用の推進を通じ、地 域活性化にも貢献したいと思い、農業委 員に応募したものです。